

第 5 学年算数科学習指導案

日 時 平成16年9月10日(金) 5校時
児 童 男10名 女15名 計25名
指導者 千葉 真理

1 単元名 小数のかけ算とわり算を考えよう

2 単元について

(1) 本単元の基礎・基本について

《基礎》

乗数や除数が小数のかけ算及びわり算の計算のしかたが分かり、計算ができる。また、あまり求めることができる。

《基本》

乗数や除数が小数のかけ算及びわり算の場合でも、その乗数や除数を10倍、100倍・・・し、同じだけ被乗数や被除数も10倍、100倍・・・すれば積や商が求められることを理解する。

(2) 教材について

本単元は、第5学年の算数科の内容「A 数と計算」の(3)「小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。」を受けて設定されたものである。

これまでに児童は、「小数のかけ算とわり算(1)」で被乗数が小数で、乗数が整数の場合を学習してきた。「 \times 整数」では、同数累加でとらえることもできた。しかし、乗数が小数の場合は累加することができない。(例えば、「 $\times 2.7$ 」を2.7回加えることができない。)そこで、乗数が小数の場合でも、乗数が整数の時と同じように乗法が適用できるという、乗法の意味の拡張を図ることになる。

また、除法では、除法の意味を拡張するにあたって、等分除はこれまでの「等分する」という意味を拡張し、「1つ分の量」を求める計算であることを理解させる。等分除の基本的な意味が理解できると、「1つ分の量」でわる包含除の場合も拡張しやすくなる。

本単元では、乗数や除数が小数の場合でも、その乗数や除数を10倍、100倍・・・することで、既習の整数の計算の数量関係などをもとに計算していくことが大切となる。

(3) 児童について

レディネステストでは、1学期に学習した「小数のかけ算とわり算(1)」の中から [1]小数 \div 整数、整数 \div 整数、小数 \times 整数の計算 [2]商を1/10の位まで求めて、あまりを出す計算 [3]小数のかけ算、わり算を用いる文章題、わり算の筆算の説明 [4]小数のかけ算、わり算の計算の仕方の説明について出題した。その結果、1~(4)のわり算は、ほとんどの児童ができていたが、(5)~(8)の商のたてかたで間違える児童が数名いた。(例えば、0.75を7.5とする)また、小数点のつけ忘れもあった。[2]では、あまりを小数にせず、整数のままにしている児童が数名いた。[3]の文章題は、ほとんどの児童ができていた。筆算のしかたをうまく説明

できない児童が数名いたが、**1**のわり算の誤答にも関係あると考えられ、個別指導にもいかしていきいたい。**4**についてもほとんどの児童はできていたが、途中での間違いもいくつかあった。かけ算・わり算の筆算の途中でつかわれる九九は、100ます計算や繰り返しの練習などにより定着しているが、**3**の筆算の説明や**4**の計算のしかたの説明の誤答に関しては、小数の性質についての理解と単位換算のしかたが不十分であることが原因だと思われる。

落ち込んでいる点を全体、個別に指導してからこの単元に入った。単元に入ってからこの点については、繰り返し類似問題に取り組むことで定着をはかっていきいたい。また、小数点のつけ忘れ、計算ミスをなくすために、しっかり見直すことも習慣化させていきいたい。

(4) 指導にあたって

「小数のかけ算」では、まず「 \times 小数」の意味を理解させる。今までのように同数累加の考え方では説明できなくなる。小数をかけることの意味をとらえさせるには、「 \times 整数」の意味をしっかりおさえていることが大切となる。そこで、「 \times 小数」を適用する「1つ分の量 \times いくつ分=全体の量」の場面を提示しその立式を考える段階で「 \times 整数」の場合と対比させ、数直線図やことばの式などと関わらせながら、かけ算の意味を小数でも適用できるように拡張させる。単元を通して必要になってくる数直線図、テープ図などの見方やかき方については、この段階でしっかり身に付けさせたい。

「小数のわり算」では、前段階で学習する乗法の意味の小数への拡張と対をなしているので、展開のしかたは共通するところが多い。かけ算の場合と比較させながら指導を進めていきいたい。小数のわり算の意味を確実に理解させるために、計算のしかたを児童自らが導きだせるようにすることが大切である。そこで、自力解決での思考、操作を大切に扱っていきいたい。また、計算のしかたを学習するときに、小数点の処理のしかたにも着目させ指導していきいたい。

「小数倍とかけ算・わり算」では、導入として道のりの長さを比較していく場面を通して、小数倍を求めていく。これまでに小数倍については、「整数 \div 整数=小数」で求めているが、ここでは、純小数倍も含めて小数倍の意味を拡張していく。倍を表す比較量を知り、基準量を求める方法も理解させる。小数の乗除を通じて演算決定をしていくのは、困難だと思われるので丁寧に扱っていきいたい。いずれの場合も数直線を提示し、数量の関係を的確にとらえることが大切となる。

児童にとって、乗数、除数が小数である計算は、初めてであるが、形式的に計算だけ行うことはそう難しくないと考えられる。小数のかけ算・わり算の意味を確実に理解させることが大切である。そこで、本単元では、既習の学習を活用しながら、計算の意味などを説明できるようにすることを通して理解を深めてきたい。

3 単元の目標

乗数が小数の場合の乗法や、除数が小数の場合の除法の意味とその計算のしかたについて理解し、それをを用いる能力を伸ばす。また、計算法則は数範囲が小数の場合でも成り立つことを理解する。
【関心・意欲・態度】・乗数や除数が小数の場合でも、既習の整数の計算の数量関係などをもとにして、乗法や除法の式に表そうとする。

【数学的な考え方】・整数の乗法、除法計算と関連づけて、乗数が小数の乗法、除数が小数の除法

の計算の仕方を考える。

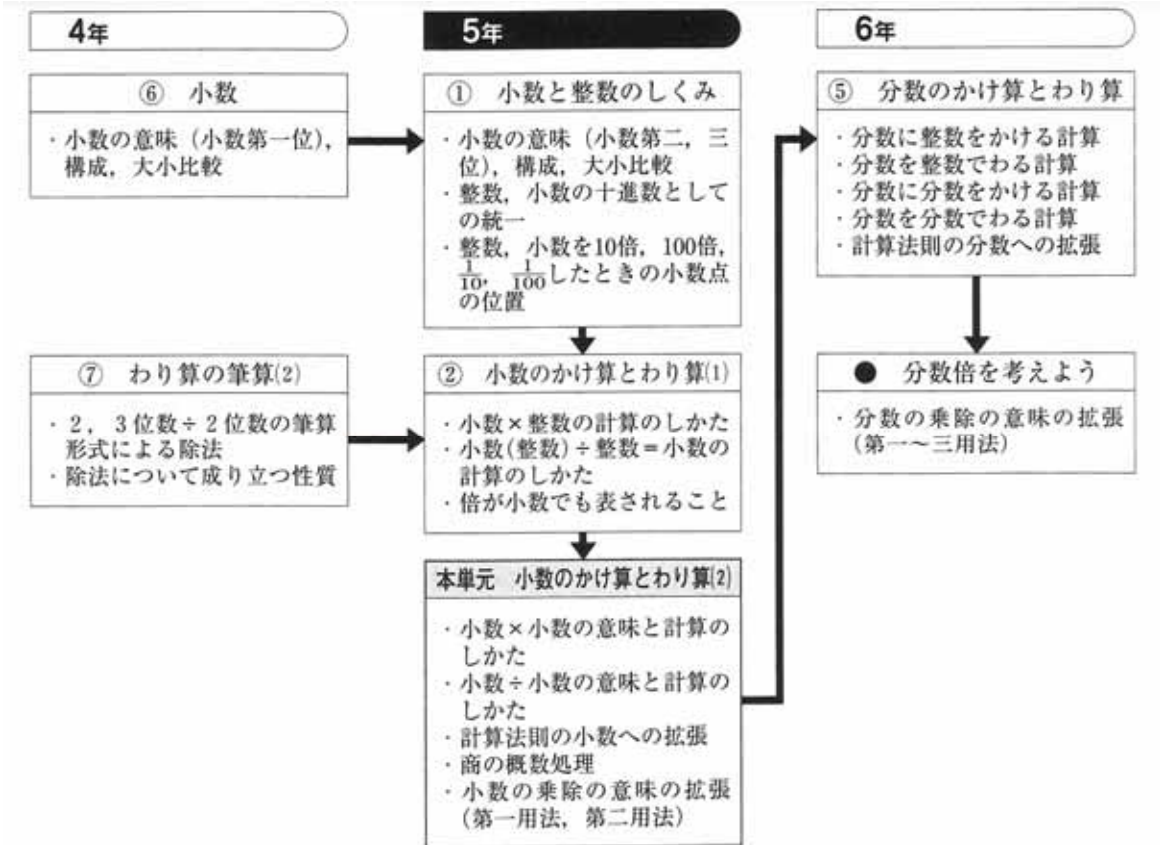
【表現・処理】

・乗数が小数の乗法、除数が小数の除法の計算をすることができる。

【知識・理解】

・乗数が小数の乗法、除数が小数の除法の意味やその計算のしかたを理解する。

4 教材の関連と発展



5 単元指導計画・評価規準

小数のかけ算とわり算を考えよう 20時間(本時10/20時)

		小数のかけ算	
時・型	1 (A型)	時・型	2 (A型)
達成目標	・小数をかけることの意味と、整数×小数(1/10の位まで)の計算の仕方を理解する。		
つかむ	1 1学期に学習した小数×整数、小数÷整数の内容を振り返る。	つかむ	1 前時の想起をする。 ・リボンの長さが小数のときでもその代金を求めるには、整数のときと同じように、かけ算を使う。
	2 問題文を把握する。 1mのねだんが80円のリボンを、2.7m買いました。代金はいくらですか。		2 課題をつかむ。 整数×小数の計算のしかたを考えよう。
見通す	3 課題をつかむ。 代金を求めるには、どんな式になるだろうか。	見通す	3 解決の見通しを持つ。 ・解決の方法を選択する。 0.1m分を求めてから27倍する方法 27m分を求めてから1/10する方法
	4 解決の見通しを持つ。 ・方法の見通し ・答えの見通し		4 自力解決をする。 ・自分の選んだ方法で自力解決をする。 $(80 \div 10) \times 27 = 216$ $80 \times 27 \div 10 = 216$
考える	5 自力解決をする。 ・図 ・数直線 ・言葉の式	考える	5 解決の方法を話し合う。 との違いについて確認する。
	6 自分の考えを発表しあう。 7 学習のまとめをする。 リボンの長さが小数で表されていても、その代金を求めるには、整数のときと同じように、かけ算の式をたてます。 式 80×2.7		6 学習のまとめをする。 整数×小数の計算は、かける数を10倍にして整数にし、整数×整数の積を10でわれば求められる。
使う	8 本時を振り返り、自己評価をする。 9 次時の学習を知る。	使う	7 練習問題を解く。 ・P69のとドリルの問題を解く。 8 本時を振り返り、自己評価をする。 9 次時の学習を知る。
評価規準	【関】乗法が小数の場合でも、既習の整数の乗法の数量関係などをもとにして乗法の式で表そうとしている。	評価規準	【考】既習の整数×整数、小数×整数などに関連付けて、整数×小数(1/10の位まで)の計算の仕方を考えている。

小数のかけ算			
時型	3 (A型)	時型	4 (C型)
達成目標	・1 / 10の位までの小数どうしをかける筆算のしかたを理解し、その計算ができる。	達成目標	・1 / 10の位までの小数どうしをかける計算(末尾の0を処理したり、0を補う場合)ができる。
つかむ	1 問題文を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 1 mの重さが2.3 kgのパイプがあります。このパイプ2.8 kgの重さは何kgですか。 </div> 2 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 小数×小数の計算のしかたを考えよう。 </div>	つかむ	1 前時の想起をする。 2 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 小数×小数の筆算の計算練習をしよう。 </div>
見通す	3 解決の見通しを持つ。 ・商の見通し(被乗数、乗数ともに概数にすることで、積を予想させる。) ・方法の見通し(前時のまとめから小数を整数にするには、10、100倍・・・して整数のかけ算と同じように計算することを確認する。)	使う	3 P71 3 の(1)(2)のような場合の計算の仕方について確認する。 4 練習問題を解く。 ・教科書の問題 ・ドリルの問題 ・どちらも終えた児童については、プリントの問題に挑戦させる。 5 本時を振り返り、自己評価をする。 6 次時の学習を知る。
考える	4 自力解決をする。 2.3×2.8 $= (2.3 \times 10) \times (2.8 \times 10) \div 100$ $= 6.44$ 5 自分の考えを発表し合う。 ・被乗数、乗数ともに整数にし、かけた分だけわれは積が求められることをとらえさせる。 ・筆算のしかたを考える。 6 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 小数×小数の計算のしかたは、小数点がないものとして計算する。 積の小数点は、かける数とかけられる数の小数点の右にあるけた数の和だけ、右から数えてうつ。 </div>		
使う	7 練習問題を解く。 8 本時を振り返り、自己評価をする。 9 次時の学習を知る。		
評価規準	【考】整数の乗法の計算のしかたに帰着して、1 / 10の位までの小数どうしをかける筆算のしかたを考えている。	評価規準	【表】1 / 10の位までの小数どうしをかける計算(末尾の0を処理したり、0を補う場合)ができる。

小数のかけ算			
時・型	5 (B 型)	時・型	6 (B 型)
達成目標	・純小数をかけると、積は被乗数より小さくなることを理解する。	達成目標	・長方形の辺の長さが小数の場合も面積公式が適用できることを理解する。
つかむ	1 問題文を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1 m のねだんが 80 円のリボンがあります。このリボン 1.8 m、0.8 m の代金は、それぞれ何円ですか。 </div> 2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> かける数が 1 よりも大きいときの積と 1 より小さいときの積を比べてみよう。 </div>	つかむ	1 問題文を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> たてが 2.3 cm、横が 3.6 cm の長方形の面積を求めましょう。 </div> ・既習の面積の求め方を復習する。 2 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 辺の長さが小数で表されているときも、面積の公式が使えるかどうか調べよう。 </div>
見通す	3 解決の見通しを持つ。 数直線をもとに予想する。	見通す	3 解決の見通しを持つ。 ・方法の見通し ・答えの見通し
考える	4 自力解決をする。 5 自分の考えを発表しあう。 ・数直線をもとに、積と被乗数との大小比較について考えさせる。 6 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 小数のかけ算では、1 より小さい数をかけると、その積はかけられる数より小さくなります。 </div>	考える	4 自力解決をする。 5 自分の考えを発表しあう。 6 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 面積は、辺の長さが小数で表されていても、公式を使ってかけ算で求めることができる。 </div>
使う	7 練習問題を解く。 ・教科書の問題 ・ドリル、プリントの問題 8 本時を振り返り、自己評価をする。 9 次の学習をする。	使う	7 練習問題を解く。 ・教科書の問題 ・ドリル、プリントの問題 8 本時を振り返り、自己評価をする。 9 次の学習を知る。
評価規準	【考】数直線上の乗数も大きさと関連付けて、被乗数と積の大小関係について考えている。	評価規準	【知】長方形の辺の長さが小数の場合も、面積公式を適用して面積を求められることを理解している。

小数のかけ算			
時・型	7 (B 型)	時・型	8 (C 型)
達成目標	・小数の場合でも、交換、結合、分配法則が成り立つことを理解する。	達成目標	・学習内容に習熟する。 ・学習内容の理解を深め、算数への興味を広げる。
つかむ	1 問題文を把握し、課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">整数の時に成り立った計算のきまりは、小数のときも成り立つかどうか調べましょう。</div>	つかむ	1 本時の課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">小数のかけ算のまとめの練習問題をしよう。</div>
見通す	2 課題の見通しを持つ。 ・根拠を明らかにさせながら、予想させる。	使う	2 練習問題を解く。 ・教科書の問題 ・ドリルの問題 ・プリント
考える	3 課題の解決を図る。 ・自力解決ではなく、みんなで問題を考えさせることで練習問題における習熟の時間を確保する。 ・交換、結合、分配法則がみな小数の場合も成り立つことを確認する。 4 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">整数のときに成り立った計算のきまりは、小数のときも成り立ちます。</div>		3 本時を振り返り、自己評価をする。 4 次時の学習を知る。
使う	5 練習問題を解く。 ・教科書の問題 ・ドリル、プリントの問題 6 本時を振り返り、自己評価をする。 7 次時の学習を知る。		
評価規準	【知】小数の場合でも、交換、結合、分配法則が成り立つことを理解している。	評価規準	【表】乗数が小数の乗法計算ができる。

小数のわり算			
時・型	9 (A型)	時・型	10 (A型 本時)
達成目標	・小数でわることの意味と、整数÷小数(1/10の位まで)の計算の仕方を理解する。		
つかむ	1 問題文を把握する。 ・リボン2mの場合の問題を提示し代金の求め方を確認する。 リボンを2.5m買ったなら、代金は200円でした。このリボン1mのねだんは何円ですか。	つかむ	1 前時の想起をし、課題をつかむ。 整数÷小数の計算のしかたを考えよう。
	2 課題をつかむ。 リボン1mあたりのねだんの求め方を考えよう。	見通す	2 解決の見通しを持つ。 ・小数のかけ算の時を振り返らせ、同じ方法でできるかどうか考えさせる。
見通す	3 解決の見通しを持つ。 ・方法の見通し	考える	3 自力解決をする。 2.5mは0.1mの25こぶん $200 \div 25 \times 10 = 80$ $200 \times 10 \div 25 = 80$ $200 \times 4 \div 10 = 80$ のような考えができた場合は、扱うようにするが、できなかった場合は扱わない。
考える	4 自力解決をする。 ・2つの問題を比較して ・ことばの式から ・かけ算の逆として ・数直線に表して		4 自分の考えを発表しあう。
	5 自分の考えを発表しあう。	5 解決の方法を話し合う。 ・相違点・類似点 ・どちらのほうがよさそうか	5 解決の方法を話し合う。 ・相違点・類似点 ・どちらのほうがよさそうか
使う	6 解決の方法を話し合う。 ・それぞれの方法について話し合い、式の意味について考えさせる。 ・小数でわることの意味を確認する。	使う	6 学習のまとめをする。 整数÷小数の計算のしかたは、整数×小数の時と同じように、整数の計算に直して考えることができる。
	7 本時を振り返り、自己評価をする。		7 練習問題を解く。 ・教科書の問題
	8 次時の学習を知る。		8 本時を振り返り、自己評価をする。 9 次時の学習を知る。
評価規準	【知】小数でわることの意味を理解している。	評価規準	【考】既習の整数÷整数、小数÷整数に関連付けて、整数÷小数(1/10の位まで)の計算の仕方を考えている。

小数のわり算			
時・型	1 1 (A 型)	時・型	1 2 (C 型)
達成目標	・ 1 / 1 0 の位までの小数どうしの除法の、筆算のしかたを理解し、その計算ができる。	達成目標	・ 1 / 1 0 の位までの小数どうしの除法の計算（商が純小数や、被除数に 0 を補う場合）ができる。
つかむ	1 問題文を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 6 . 5 m の重さが 7 . 8 k g の鉄の棒があります。この鉄のぼうの 1 m の重さは何 k g ですか。 </div> 2 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 小数 ÷ 小数の計算のしかたを考えよう。 </div>	つかむ	1 前時の想起をする。 2 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 小数 ÷ 小数の筆算の計算練習をしよう。 </div>
見通す	3 解決の見通しを持つ。 ・ 前時で学習したことをもとに予想させる。	使う	3 P 8 1 3 の (1) (2) (3) のような場合の計算のしかたについて確認する。 4 練習問題を解く。 ・ 教科書の問題 ・ ドリルの問題 ・ どちらも終えた児童については、プリントの問題に挑戦させる。 5 本時を振り返り、自己評価をする。 6 次時の学習を知る。
考える	4 自力解決をする。 $7 . 8 \div 6 . 5$ $= (7 . 8 \times 1 0) \div (6 . 5 \times 1 0)$ $= 1 . 2$ 5 自分の考えを発表しあう。 ・ わられる数とわる数の両方を 1 0 倍することで整数 ÷ 整数の計算で商が求められることに気づかせる。 ・ 筆算のしかたを考える。 6 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 小数 ÷ 小数の計算のしかた わる数の小数点を右にうつして、整数になおす。 わられる数の小数点も、わる数の小数点をうつした数だけ右にうつす。 わる数が整数のときと同じように計算し、商の小数点は、わられる数の右にうつした小数点にそろえてうつ。 </div>		
使う	7 練習問題を解く。 8 本時を振り返り、自己評価をする。 9 次時の学習を知る。		
評価規準	【考】整数の除法の筆算のしかたに帰着して、1 / 1 0 の位までの小数どうしの除法の、筆算のしかたを考えている。	評価規準	【考】1 / 1 0 の位までの小数どうしの除法の計算（商が純小数や、被除数に 0 を補う場合）ができる。

小数のわり算			
時・型	1 3 (A 型)	時・型	1 4 (B 型)
達成目標	・純小数でわると商は被除数より大きくなることを理解する。	達成目標	・小数の除法におけるあまりの位取りについて理解する。
つかむ	1 問題文を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1 . 2 mの代金が2 4 0円の白いリボンと 0 . 8 mの代金が2 4 0円の赤いリボンがあります。1 mのねだんは、それぞれ何円ですか。 </div> 2 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> わる数が1 よりも大きいときの商と 1 より小さいときの商を比べてみよう。 </div>	つかむ	1 問題文を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 2 . 5 のジュースを0 . 7 入りの水とうにいれていきます。何この水とうをいっぱいにできますか。また、何 ありますか。 </div> 2 課題をつかむ。 ・既習の小数÷整数の場合の想起 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> わる数が小数のわり算のあまりの求め方を考えよう。 </div>
見通す	3 解決の見通しを持つ。 ・数直線をもとに予想する。 ・かけ算の時にも積を比較したことを想起させる。	見通す	3 解決の見通しを持つ。 ・あまりは、除数よりも小さくなることを確認する。 ・答えをたしかめるために検算について思い起こさせる。
考える	4 自力解決をする。 5 自分の考えを発表しあう。 ・数直線をもとに、商と被除数との大小比較について考えさせる。 6 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 小数のわり算では、1 より小さい数でわるとその商はわられる数よりも小さくなります。 </div>	考える	4 自力解決をする。 ・『見通す』で確認したことをもとに自力解決させる。 5 自分の考えを発表しあう。 6 解決の方法を話し合う。 7 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 小数のわり算であまりを求める時、あまりの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえてうつ。 </div>
使う	7 練習問題を解く。 ・教科書の問題 ・ドリルの問題 8 本時を振り返り、自己評価をする。 9 次時の学習を知る。	使う	8 練習問題を解く。 ・教科書の問題 ・ドリルの問題 9 本時を振り返り、自己評価をする。 1 0 次時の学習を知る。
評価規準	【考】数直線上で除数の大きさと関連付けて、被除数と商の大小関係を考えている。	評価規準	【表】あまりのある場合の小数の除法計算ができる。

小数のわり算			
時・型	1 5 (A 型)	時・型	1 6 (C 型)
達成目標	・小数の除法の答えを概数で表すときの処理のしかたを理解する。	達成目標	・学習内容に習熟する。
つかむ	1 問題文を把握する。 面積が 7.2 m^2 の、長方形の形をした花だんを作ることになりました。横の長さを 2.9 m にするとたての長さは何 m にすればよいでしょうか。四捨五入して、上から 2 けたの概数で求めましょう。	つかむ	1 本時の課題を把握する。 小数のわり算のまとめの練習問題をしよう。
	2 課題をつかむ。 小数を概数で表す方法を考えよう。		2 練習問題を解く。 ・教科書の問題 ・ドリルの問題 ・プリント
見通す	3 解決の見通しを持つ。 ・商を上から 2 けたの概数にするためには、上から何けたかを四捨五入すればよいか考えさせ、そこで計算を打ち切れればよいことに気づかせる。	使う	3 本時を振り返り、自己評価をする。
考える	4 自力解決をする。 5 自分の考えを発表し合い、解決方法を話し合う。 6 学習のまとめをする。 上から n けたの概数で表すには、その次のけたで四捨五入する。(上から 2 けたの時は、3 けた目を四捨五入)		4 次時の学習を知る。
使う	7 練習問題を解く。 ・教科書の問題 ・ドリルの問題 8 本時を振り返り、自己評価をする。 9 次時の学習を知る。		
評価規準	【表】小数の除法の答えを、必要に応じて概数で表すことができる。	評価規準	【表】除数が小数の除法計算ができる。

小数倍とかけ算・わり算			
時・型	17 (B型)	時・型	18 (A型)
達成目標	・比較量、基準量が小数のときも、倍は除法で求められることを理解する。	達成目標	・倍を表す数が小数のときも、比較量は基準量×何倍で求められることを理解する。
つかむ	<p>1 問題文を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 右の表は、よしこさんたちの家から駅までの道のりを表しています。よしこさんの道のりをもとにすると、他の人の道のりは、それぞれ何倍にあたりますか。 </div> <p>2 課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期に学習した「倍」について想起させ復習する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 小数の時の～倍の求め方を考えよう。 </div>	つかむ	<p>1 問題文を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 赤、青、黄色の3本のテープがあります。赤いテープの長さは5mです。青いテープの長さは、赤いテープの3.5倍、黄色テープの長さは、赤いテープの0.6倍あります。青と黄色のテープは、それぞれ何メートルですか。 </div> <p>2 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> どんな計算をすればいいか考えよう。 </div>
見通す	<p>3 解決の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期に学習したことを想起させ、わり算で求められることを確認する。 	見通す	<p>3 解決の見通しを持つ。</p> <p>整数のときと比べて考えさせる。</p>
考える	<p>4 自力解決をする。</p> <p>5 自分の考えを発表し合い、解決の方法を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数のときやわられる数が小数のときと同じようにわり算で求められることを確認する。 <p>6 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 小数の時も ～倍を求めるときは、わり算を使う。(比べられる量÷もとにする量) </div>	考える	<p>4 自力解決をする。</p> <p>5 自分の考えを発表し合い、解決の方法を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数のときやわられる数が小数のときと同じようにわり算で求められることを確認する。 <p>6 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 3.5倍や0.6倍にあたる大きさは、もとにする大きさに3.5や0.6をかければ求められる。 </div>
使う	<p>7 練習問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の問題 ・ドリルの問題 <p>8 本時を振り返り、自己評価をする。</p> <p>9 次時の学習を知る。</p>	使う	<p>7 練習問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の問題 <p>8 本時を振り返り、自己評価をする。</p> <p>9 次時の学習を知る。</p>
評価規準	【表】比較量、基準量が小数の場合でも、何倍かを除法で求めることができる。	評価規準	【考】倍を表す数が小数の場合でも、小数倍にあたる大きさを求めるには、整数の場合をもとに発展的に考えている。

	小数倍とかけ算・わり算		まとめ
時・型	19 (B型)	時・型	20 (C型)
達成目標	・倍を表す数が小数のときも、基準量は比較量÷倍で求められることを理解する。	達成目標	・学習内容の理解を確認する。 ・学習内容の理解を深め、算数への興味を広げる。
つかむ	1 前時の想起をする。 小数倍の求め方を復習する。 2 問題文を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> あきらさんのお父さんの体重は63kgです。これは、あきらさんの体重をもとにすると、1.8倍にあたります。あきらさんの体重は何kgですか。 </div> 3 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> どんな計算をすればよいか考えよう。 </div>	つかむ	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 小数のかけ算とわり算のまとめをしよう。 </div>
見通す	4 課題の見通しを持つ。 ・前時までの学習を想起させる。	使う	2 練習問題を解く。 ・教科書の問題 ・ドリルの問題 ・プリント 3 本時を振り返り、自己評価をする。
考える	5 自力解決をする。 6 自分の考えを発表し合い、解決の方法を話し合う。 ・整数のときやわられる数が小数のときと同じようにわり算で求められることを確認する。 7 学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> もとにする大きさを求めるには、 を使ってかけ算の式に表すと考えやすくなります。 </div>		4 次時の学習を知る。
使う	8 練習問題を解く。 9 本時を振り返り、自己評価をする。 10 次時の学習を知る。		
評価規準	【考】倍が小数の場合でも、基準量を求めるには、整数の場合をもとに発展的に考えている。	評価規準	【表】今までに学習した小数のかけ算やわり算の計算ができる。

6 本時の指導（10 / 20時）

（1）目標

小数でわることの意味と、整数÷小数（1 / 10の位まで）の計算のしかたを理解する。

（2）基礎・基本

《基礎》

・既習の整数の除法に関連付けて「整数÷小数」の計算のしかたを見いだすことができる。

《基本》

・「整数÷小数」の意味やその計算のしかたを理解する。

（3）主な評価規準

【考】 既習の整数÷整数、小数÷整数に関連付けて、整数÷小数（1 / 10の位まで）の計算の仕方を考えている。

（4）展開

段階	学習活動	支援の視点	評価（方法）
つかむ 5分	1 前時の想起をし、課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 整数÷小数の計算のしかたを 考えよう。 </div>	・前時で使った問題文、図を提示し、内容を確認する。	
見通す 5分	2 解決の見通しを持つ。 ・解決方法の見通し 「0.1がいくつぶん」で考える。 整数の式に直してみる。 数直線を手がかりにする。 ・答えの見通し 200÷2.5のおよその答えを考える。	・小数のかけ算の時を振り返らせ、わり算の時も「0.1がいくつ分」「整数に直して」「数直線図」などを用いて計算のしかたについて考えられないか助言する。	・自分なりに解決の見通しをもつことができたか。 (発表、挙手)
考える	3 自力解決をする。 ・自分で決めた方法で解く。 2.5mを0.1mが25こぶんと考える。 0.1mのねだん200÷2.5 200÷2.5 =200÷2.5×10 =80	・解決方法ごとに自分の考えを書くように助言する。 ・1つの方法でできたら、別の方法に挑戦させる。 ・つまづいている児童には、具体物进行操作させたり、数直線図と関連させたり(ヒントカ)	(具体の評価規準) A 整数÷整数、小数÷整数の考えに関連付けて整数÷小数の計算のしかたについて考え、それを説明することができる。 B 整数÷整数、小数÷

30分	<p>2.5 mのねだんは、2.5 mのねだんの10倍 $(200 \times 10) \div (2.5 \times 10)$ $2000 \div 2.5 = 800$ 2.5 mを4倍すると10 m $2.5 \times 4 = 10$ ねだんも4倍すると $200 \times 4 = 800$ $800 \div 10 = 80$</p> <p>4 自分の考えを発表し合う。 ・それぞれの方法について発表する。(代表児童) ・友達の発表に対する考えを交流しあう。</p> <p>5 解決の方法を話し合う。</p> <p>6 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>整数÷小数の計算のしかたは、整数×小数のときと同じように整数の計算に直して考えることができる。</p> </div>	<p>ード)しながら、小数を整数に直すことに気づかせる。 ヒントカード・・・リボンの長さに対応する値段を書きこめるような図。</p> <p>・それぞれの考え方を大事にし、整数の除法に帰着して考えればよいことをおさえる。</p>	<p>整数の考えに関連付けて整数÷小数の計算のしかたについて考えることができる。 Cへの手だて 具体物や数直線図と関連させながら、リボンの長さに対応する値段を視覚的に考えさせる。 (ヒントカード・机間指導)</p>
使う5分	<p>7 練習問題を解く。 教科書 p 79</p> <p>8 本時を振り返り、自己評価をする。</p> <p>10 次時の学習を知る。</p>	<p>・ は、確認しながら、一斉指導する。 は、自力解決させる。</p> <p>・ ノートに 今日の課題が解決できたか。 自分のがんばりや友達がのがんばりについて記入させる。</p>	

(5) 板書計画

問題

リボンを2.5m買ったら、代金は200円でした。このリボン1mのねだんは何円ですか。

式

$$200 \div 2.5$$

ことばの式

数直線図

考え

(図)

2.5mは0.1mが
25こ分

$$200 \div 25 = 8$$

$$8 \times 10 = 80$$

答え 80円

課題

整数÷小数の計算の
しかたを考えよう。

まとめ

整数÷小数の計算のしかたは、整数×小数のときと同じように整数の計算に直して考えることができる。

練習問題 $280 \div 3.5$

答え 80円

$$30 \div 1.5$$

答え 20g

(図)

$$2.5 \times 10 = 25$$

$$200 \times 10 = 2000$$

$$2000 \div 25 = 80$$

答え 80円